

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです

2016年度後援会会長就任あいさつ



後援会会長 祖父江一仁

6月4日(土)に開催された法政大学後援会総会にて2016年度会長に推挙され、1年間皆さまと共に学生と大学の支援のお手伝いをさせていただくこととなりました。伝統ある後援会の運営に携わることになり、その責任の重さに身の引き締まる思いがいたします。

法政大学後援会は首都圏および北海道から沖縄までの全国36支部で構成され、約2万8000人の会員を有する父母・保護者の組織です。

「大学の教育方針に則り、大学と学生家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図る」ことを目的に1947年に設立され、今年で設立69年目を迎えることができました。

後援会活動の目的は、「大学と家庭が統一ある教育理念の下に学生の人間形成の推進に協力する。広い立場に立って学生生活をより豊かにする」という理念に基づき、大学への備品寄贈、体育会やサークル活動への補助、奨学金や資格講座への助成など、学生および大学への財政的な支援活動を実施しています。

保護者の皆さまへは「新入生父母の集い」や「父母懇談会」などの行事開催に加え、広報誌『法政』や後援会ウェブサイトを通じて、さまざまな情報を発信しています。これらの活動は、すべて会員から選出された役員ボランティア活動により支えられています。

法政大学は、設立150周年を迎える2030年に向けて長期ビジョン「HOSEI 2030」を策定しています。

他大学ではあまり類のない後援会活動の源泉は、子どもを思う純粋な親心だと思えます。法政大学後援会は先人が築き、守り続けてきた理念を受け継ぐとともに、大学の教育方針に則り、「学生と大学の一番の応援団」として、教育の内容と質の向上を時代の変化に合わせてつづき、学生と大学をバックアップしていきます。

これからも後援会活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

会長退任に当たって



2015年度後援会会長 小林章

後援会の皆さまには、平素より後援会活動に対してご理解、ご協力、ご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。このたび、2015年度後援会会長の任期を終えまして、無事に次年度の役員に禪(たすき)をつなぐことができました。

法政大学は田中優子総長の下、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」の採択に基づき、グローバル化の一層の進展を図り、「持続可能な地球社会の構築」という目標を掲げています。私たち後援会は大学と一体となって、学生と大学への支援をさらに充実にしたものにするために、この変革に呼応しました。そして従来の枠にとらわれず、時代と環境の変化に対応すべく、新たな取り組みにも積極的にチャレンジしてきました。

これらの動きはまだ緒にすぎたばかりですが、首都圏ならびに全国36支部の父母や役員の方々が寄せられた多くの意見、ご要望を、田中総長や理事をはじめとする大学関係者にできる限り伝え、子どもたちが安全・安心で、実り多きキャンパスライフを送れるように取り組んでまいりました。

そして、本年もオレンジカラーのスポーツ応援隊として、東京六大学野球リーグ戦、新春の東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)などの体育会系クラブ活動の応援に従前以上に力を入れ、大勢の方々にご参加いただくことができ

ました。法政大学後援会は、「子どもの母校は我が母校」を合言葉に、学生と大学を支援する一番の応援団として、大学および法政大学校友会と三位一体になり、活動の活性化を図っていきます。後援会活動で出会った全国の多くの良き仲間、ならびに後援会活動にお力を賜りました全ての方々に心より感謝を込めまして、御礼と退任のあいさつといたします。本年1年間、どうもありがとうございました。

写真で見る小林会長の1年間



1 2015年6月6日(土) 2015年度総会 市ヶ谷キャンパス薩埵ホール 2 2015年6月6日(土) 後援会総会後新運営委員と 3 2015年7月2日(木) 常任委員・参与と後援会運営委員との懇談会 市ヶ谷キャンパス九段校舎 4 2015年7月26日(日) 山形県支部総会・父母懇談会 沼澤支部長と 5 2015年10月11日(日) 首都圏父母懇談会 市ヶ谷キャンパス 6 2015年11月7日(土) 副学長・学部長・後援会役員懇談会 市ヶ谷キャンパス外濠校舎 7 2015年11月25日(水) 総長・学内理事と後援会運営委員との懇談会 市ヶ谷キャンパス九段校舎 8 2016年1月30日(土) 公認会計士試験合格祝賀会 後援会賞授与 市ヶ谷キャンパススカイホール 9 2016年6月4日(土) 2016年度総会終了後、祖父江一仁新会長と握手 市ヶ谷キャンパス薩埵ホール前

後援会ホームページのご案内

<http://www.hosei-koenkai.org/>
法政大学のホームページを開いていただき、オレンジのインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。ぜひ一度ご覧になってみてください。



「携帯メール情報」の配信案内

法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。東京六大学野球、ラグビーや箱根駅伝などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人一人の力は小さくても、一致団結して盛り上げていきましょう。配信をご希望の方は、下記アドレスへ「メールマガジン配信希望」とお書きになり、登録するメールアドレスをお送りください。 koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp



2016年度 法政大学後援会の主な年間行事

月日	曜日	行事	内容
4月3日	日	入学式	大学行事。日本武道館にて開催
5月21日	土	幹事会	後援会の役員会。決算案、予算案などを審議
6月4日	土	支部長会議	支部総会・父母懇談会の打ち合わせ
		後援会総会	事業報告・決算報告、事業計画・予算案他を審議
		懇親会	大学主催の懇親会
7月~8月	土・日・祝	支部総会・父母懇談会	詳細は本誌4月号、5月号、後援会ウェブサイトに掲載
10月9日	日	首都圏父母懇談会(市ヶ谷キャンパス)	法、文、経営、国際文化、人間環境、キャリアデザイン、デザイン工、グローバル教養学部1~3年の父母・保証人対象
10月15日	土	首都圏父母懇談会(多摩キャンパス)	経済、社会、現代福祉、スポーツ健康学部の1~3年の父母・保証人対象 大学祭(多摩祭)と同日開催
10月16日	日	首都圏父母懇談会(小金井キャンパス)	理工、生命科、情報科学部の1~3年の父母・保証人対象
11月12日	土	支部長会議	支部総会・父母懇談会の報告
		副学長・学部長・後援会懇談会	会員から寄せられた質問に学部長が回答
3月4日	土	幹事会	後援会の役員会。暫定予算などを審議
		後援会賞表彰	難関試験を突破した学生などを後援会が表彰
3月24日	金	学位授与式	大学行事。日本武道館にて開催
		外国人留学生表彰	国際交流に尽力した留学生を後援会が表彰

体育会応援 31【準硬式野球部】 親からのメッセージ



中村真吾 (聖弥/経済学部)

次男の聖弥が所属する準硬式野球部は1946年創立で、今年で70周年を迎えました。文武両道の精神を重んじ、誇りある伝統があり、これまでも全日本選手権や東京六大学野球リーグ優勝など数多くのタイトルを獲得しております。

昨年は、春・秋ともにリーグ優勝、全日本選手権大会はベスト8、また関東地区大学・社会人準硬式野球王座決定戦では、中央大学を決勝で破って優勝を成し遂げました。施設と環境に恵まれた多摩キャンパスの野球場で日々練習を重ね、今年も春季リーグ戦から新しい選手たちが加わり、好調なスタートを切っています。



小学6年生のとき

団し、硬式野球を始めました。中学3年生のときには肩を脱臼し、高校野球を見

据えて手術とリハビリ生活を経験したこともありました。そのころは、ベンチでの声出しがしばらく続きましたが「手術したからには、とことん頑張る」とよく口にしていたことを覚えています。その後、藤代高校に入学し、野球部に入部。肩も順調に回復し、高校2年生の夏の大会では、念願の甲子園出場を果たすことができました。

法政大学で野球を続けることを決めた後は、高校の先輩が在籍していた縁もあって準硬式野球部にお世話になることになりました。チームメイトは甲子園経験者も多く、強豪校で厳しい高校野球を経験していたので、さらに刺激し合いながら高みを目指してほしいと送り出しました。入学当初は、初めての一人暮らしに体調を自分で管理できる



2015年(大学3年)関東王座決定戦優勝(3列目中央が本人)



2014年(大学2年)秋季リーグ戦



2014年(大学2年)全日本選手権大会(岡山マスカット球場)

か心配しておりましたが、頼もしい先輩方や仲間が充実した生活を送っていること知り、ほっと安心したものです。

1年次の春から毎シーズン、できる限り野球場へ足を運んで応援することが、私たち夫婦の楽しみとなりました。手に汗握る戦いはもちろん、野球に打ち込む姿や、爽やかな笑顔にいつも元気をもらっています。攻守を問わず、1試合ごとに輝く選手がおり、層の厚さも感じていきます。

早いもので息子も4年生となり、学生野球も残りわずかです。集大成となる今シーズン、より一層真剣に取り組み、チーム一丸となって春リーグ、秋リーグの優勝、そして全日本選手権大会出場を決め、4度目にして最後のチャレンジとなる今年こそ、ぜひ日本一を勝ち取り



2011年(高校2年)夏の甲子園開会式(2列目中央が本人)

てもらいたいと願っています。

来年からは社会人として新たなステージに立ちますが、野球を通して培った力に自信と誇りを持って、まい進してほしいと思っています。何よりも、共に戦い共に過ごした仲間は、大切な存在として生涯の友となることでしょう。

最後になりますが、本間隆洋監督はじめ、コーチ、OB・OGの皆さまには常日頃より熱心にご指導いただき、深く感謝しております。そして後援会な



2011年(高校2年)夏の県大会表彰式(メダルを掛けてもらっているのが本人)



2011年(高校2年)夏の県大会優勝後チームメイトと(右が本人)

※()内は子どもの名前/学部

東京六大学野球春季リーグ戦応援記



後援会幹事 高岡知子 (麻衣/理工学部)

5月7日(土)、対明治大学戦。前日の雨が上がり、曇天でしたが野球観戦日和となりました。この日は、新スポーツ応援組織「HSC」と後援会の共催というかたちでの応援日で、スポーツ応援団や後援会会員のオレンジカラーがたくさん集いました。

法政先発の玉熊将一選手は7回まで投げ、その後は熊谷拓也選手、上條将希選手へとつなぎ、3人とも力強い投球を披露してくれました。ラッキー7の7回には明治大学に先制されたものの、8回に同点に追い上げたときは応援も最高潮となり、肩を組んで校歌を熱唱。さらに応援歌も熱唱して選手たちを支えました。

残念ながら9回に2点を入れられ、結果3対1で惜敗してしまいました。明治大学は、今期は優勝を狙う実力の



あるチームです。対する我らが法政大学も、まだまだ優勝が狙える位置にいます。何度か出塁し、満塁のチャンスもあったので、そのたびに応援団たちと総立ちになりながら、一丸となった熱がこもった応援を繰り広げました。

試合は投手の力投、野手の好プレーもたくさんあり、今年度のスローガン「オレンジの道」(伝統、継承、改革、負けない野球)のように、粘り強い展開を見せました。

法政第二中の全学年の生徒たちが応援に駆け付けてくれたこともあり、応援席は相手を上回る大勢の人数で埋め尽くされ、いつもの2倍、3倍の素晴らしい応援力の結集となりました。優勝を目指して、選手たちが最後まで一杯、頑張ってくれた一日でした。



「栃木県支部新入生父母の集い」報告



栃木県支部長 鈴木利永 (誠司/法学部)

新入生の父母の皆さま、法政大学へのご入学、心よりお祝い申し上げます。

栃木県支部は、2016年5月22日(日)、「新入生父母の集い」を宇都宮市のホテルニューイタヤで開催しました。本年度の入学者は107人で、集いには総勢73人の父母に出席していただきました。法政大学からは、多摩事務部社会学部事務課の齊藤健一氏に出席していただき、大学生活における注意点や履修要綱の注意点など、たいへん分かりやすく、親切で丁寧な語りでお話をいただきました。



各テーブルにも足を運んで父母の方々と直接話をしていた

ただいたので、法政大学に対する親近感や安心感が高まったものと思えます。昼食を囲んだ懇談会は、和やかで、とても楽しい時間となりました。参加された新入生の父母の方々は、たいへん熱心で、あつという間に新役員が決まってしまうほどでした。

子どもたちにとって、大学時代の4年間が、人生において最も楽しいときだと思えます。栃木県支部は、後援会のキャッチフレーズである「子どもの母校は我が母校」を合言葉に学生と大学を支援する一番の応援団として、充実した学生生活を送ることができるよう応援していきたいと思っています。今後とも皆さまの後援会活動へのご理解、ご協力、ご支援をよろしくお願いたします。

最後になりますが、朝早くから準備を進めていただきました、支部役員の方々に御礼申し上げます。